

## 「問題行動・不登校等に関する調査」の結果と取組みについて

教育相談課  
安全・安心推進課

### 1 概要

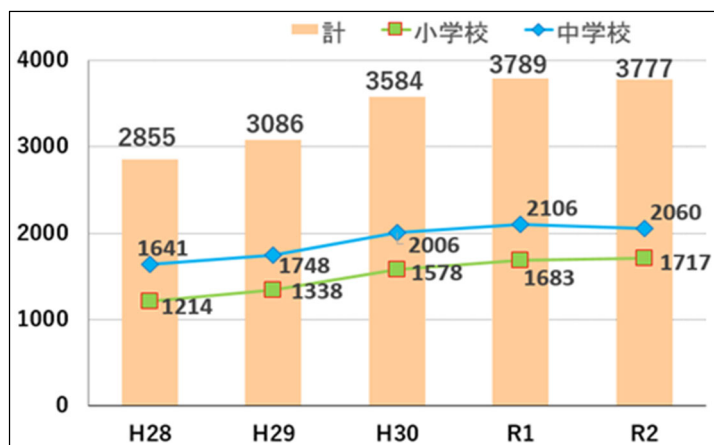
文部科学省が、令和3年10月13日に公表した「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」における、福岡市の「長期欠席児童生徒数」と「いじめの認知件数」の結果及び取組みについて報告するもの。

### 2 調査結果

#### (1) 長期欠席児童生徒数

- 福岡市立小中学校における令和2年度の長期欠席児童生徒(年間30日以上欠席者)数は、3,777人であり、概ね横ばい状態となっている。
- 長期欠席児童生徒のうち、約70%が「不登校」であり、次に親の教育に対する考え方による欠席などの「その他」が多い。

【長期欠席児童生徒数の推移】



【長期欠席児童生徒の内訳 (R2)】

項目	人数 (昨年度比)
病 気	430 (-192)
経済的理由	0 (± 0)
不登校	2,719 (+214)
新型コロナウイルスの感染回避	156
その他	472 (-190)
合 計	3,777 (-12)

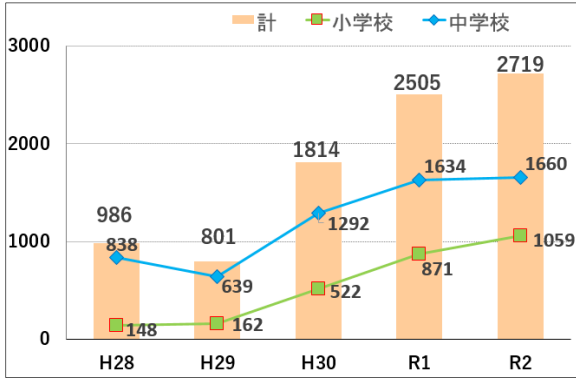
※本調査は令和2年度より、欠席理由の区分として「新型コロナウイルスの感染回避(新規)」欄を新たに設けている。

・長期欠席児童生徒は昨年度と同程度の人数である。2か月程度の一斉休業を実施したことで比較はできないが、新型コロナウイルスの影響が懸念される。

## (2) 不登校児童生徒数

- 福岡市立小中学校における令和元年度の不登校児童生徒数は、小学校 1,059 人、中学校 1,660 人、合計 2,719 人であり、昨年度より増加している。
- 不登校の主な要因は、小学校、中学校ともに「無気力、不安」が最も多く、次に小学校では「親子の関わり方」、中学校では「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が多い。

【不登校児童生徒数の推移】



【不登校の主な要因】上位5項目

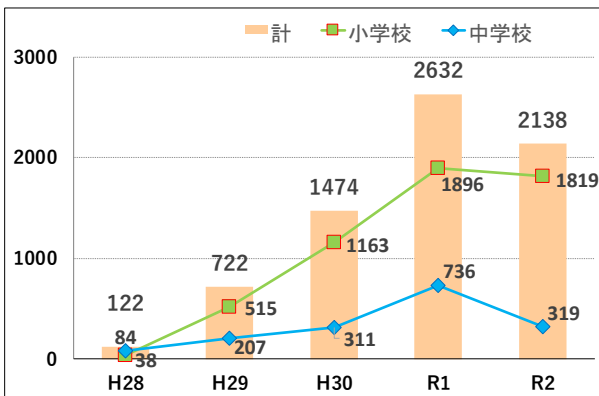
	区分	人数
小学校	① 無気力、不安	525
	② 親子の関わり方	168
	③ 生活リズムの乱れ、あそび、非行	125
	④ いじめを除く友人関係をめぐる問題	54
	⑤ 学業の不振	38
中学校	① 無気力、不安	749
	② 生活リズムの乱れ、あそび、非行	204
	③ いじめを除く友人関係をめぐる問題	152
	④ 親子の関わり方	134
	⑤ 学業の不振	104

・不登校児童生徒の増加の背景として、新型コロナウイルスの影響によって生活環境が変化し生活リズムが乱れたことや、学校生活における様々な制限によって登校する意欲が湧きにくい状況にあったこと等が考えられる。

## (3) いじめの認知件数

- 福岡市立小中学校における令和2年度のいじめの認知件数は 2,138 件であり、令和元年度の約 0.8 倍、平成 30 年度の約 1.5 倍となっている。
- 福岡市立小中学校における令和2年度の児童生徒 1,000 人当たりのいじめの認知件数は約 17.9 件であり、福岡県は約 26.1 件、全国平均は約 52.4 件である。

【いじめの認知件数の推移】



【1,000人当たりの認知件数】

	R1	R2
福岡市	22.3	17.9
福岡県	28.1	26.1
全国	61.3	52.4

(件)

※平成 29 年 3 月に文部科学省がいじめの定義の解釈を具体的に示したことを受け、積極的に認知・報告することを各学校に周知したため、平成 29 年度から増加傾向にある。

・令和2年度が減少した理由は、新型コロナウイルス感染症の拡大による一斉休業や分散登校等、生活環境の変化による児童生徒の物理的な距離の拡大や日常の教育活動の制限など、直接対面する機会の減少が要因と考えられる。

### 3 登校支援の取組みについて（主として令和3年度拡充事業等）

#### （1）スクールカウンセラーの増員

- ・全市立学校に週1～2日配置
- ・アウトリーチ的支援の充実（オンライン支援、家庭訪問）

#### （2）スクールソーシャルワーカーの増員

- ・高等学校に2名配置
- ・特別支援学校に2名配置（小呂・玄界小中と兼務）

#### （3）NPOと共同した保護者支援

- ・不登校に関するセミナー、悩みを語り合う場の設置、保護者懇談会の支援

#### （4）登校支援対策会議提言を受け、モデル校での検証実施

- ・香椎第2中ブロック、長尾中ブロック、舞鶴小中学校にて検証
- ・Q-U及びICTの効果的活用について
- ・小学校における校内適応指導教室の設置

#### （5）文科省指定「研究開発学校」事業

- ・舞鶴小中学校において、フェイスシート、個人カルテ、ループブックを作成
- ・福岡西陵高校において、単位認定の在り方の研究や校内の居場所づくりに関する環境整備

#### （6）不登校児童生徒に対するオンライン支援

- ・教室と校内適応指導教室、教室と自宅を繋いだオンライン授業
- ・オンラインによる面談

#### （7）一人一台端末を活用した相談体制の構築

- ・相談窓口一覧の掲示

### 4 いじめの未然防止・早期発見・即対応に向けた取組み

- ・各学校における学校いじめ防止基本方針の策定及び対応組織の設置  
※国の「いじめ防止対策推進法」に基づき、平成25年度から全校に設置
- ・年1回のQ-Uアンケート実施（小4から中3全児童生徒）
- ・各学校における学校生活アンケート実施（月1回）
- ・積極的ないじめ認知などについて、研修会を実施
- ・「いじめゼロプロジェクト」の実施

#### 【令和3年度】

- ・「いじめゼロサミット2021」の実施（令和3年11月8日）  
約7万人の児童生徒がオンラインで同時に参加
- ・各学校における、学校の実態に応じた取組の継続（サミット後）